スカパーJSATグループ　重要課題（マテリアリティ）目標・KPI一覧

No	重要課題テーマ	重要課題 （マテリアリティ）	長期			短期		
			長期目標（2030年にありたい姿）		KPI	短期達成目標	KPI	2021年度 実績
1	レジリエントな放送・通信インフラの構築 情報格差の解消	あらゆるエリア・環境への放送・通信インフラの提供	どんなときも、地球上のあらゆる「つながりを求めるもの」にコネクティビティを与え、信頼性の高いサービスを絶え間なく提供する	災害に強い放送・通信インフラ整備とエリア拡大により、どんなときも、どこにいても地球上のあらゆる「つながりを求めるもの」にコネクティビティを与える	-	衛星に加え、光ファイバー経由の放送サービス提供可能世帯を2023年までに、3,500万世帯に拡大する	放送サービス提供可能世帯数	放送サービス提供可能世帯数：約3,400万世帯（2021年度末） ※2月に富山県で新たに開始し、計35都道府県に提供
1					当社衛星フリートの利用帯域	当社衛星フリートの利用帯域を、前年度末比で拡大する	当社衛星フリートの利用帯域	衛星フリート利用帯域：前年比+51%
2		災害に強いレジリエントな放送・通信インフラの提供を通じたBCP及び救援・復興支援			-	スカパー東京メディアセンターにて、耐風速90mアンテナの設置と、屋上構造物の強化を行う	-	スカパー東京メディアセンターにて、耐風速90mアンテナ設置、屋上構造物強化 （2021年度に完了）
2					当社衛星フリートの利用帯域	当社衛星フリートの利用帯域を、前年度末比で拡大する	当社衛星フリートの利用帯域	衛星フリート利用帯域：前年比+51%
3		技術イノベーションを踏まえた衛星通信サービスの高信頼性・高持続性に向けた取り組み		衛星事業者の垣根を越えて、予備衛星や管制局の共有または相互貸借するパートナーシップを構築することにより、サービスの信頼性を向上する	重大なサービス断数	重大なサービス断を毎年ゼロ件にする	重大なサービス断数	1件発生 ※継続時間：約6時間、影響範囲：日本全国及び東南アジア
4	多様なコンテンツによる生活の 豊かさの向上	多様なコンテンツを、放送や配信、様々な顧客接点で提供	様々なコンテンツやサービスを取り揃え、人々の価値観を広げる統合メディアプラットフォームを実現する	人々とコンテンツの出会いを促進し、観たいコンテンツを簡単に観ることができる世界をつくる	-	衛星放送だけでなく、配信サービスや双方向機能をより活用し、人々がコンテンツを楽しめる機会を増やす	-	・新たな動画配信サービス「SPOOX」を21年10月に開始。SPOOXでは、3万タイトルを超える商品「バリュープラン」を22年2月に販売開始 ・プロ野球ファンに向けて、ソフトバンク・ホークスのキャンプをメタバース上で楽しめる企画を2022年1月に実施
5		多様なコンテンツホルダーの参入を支援し、コンテンツ流通を促進		コンテンツホルダー（個人・企業）がコンテンツビジネスに手軽に参入できる世界を作る	-	コンテンツ提供者にスタジオ機能、コンテンツの伝送、配信機能等を統合的に提供できる仕組みをつくる	-	コンテンツ提供者向けメディアソリューションサービス「メディアHUBクラウド」を2021年6月に開始
6		暴力・人権・差別等のコンテンツへの適切な対応		映像コンテンツ提供の倫理ガイドラインを確立し、当社サービスの基準とする	-	当社提供コンテンツの細やかで適切なガイドラインを策定し、時代の変化に合わせ随時改定を行う	-	当社提供コンテンツのガイドライン（内規）を2021年10月に策定 ※配信含む
7	脱炭素社会と循環型経済の実現に向けた環境への寄与	衛星および地上設備等における再生可能エネルギー利用、エネルギー効率向上の推進によるCO2の削減	グループの再生可能エネルギー使用比率100%を目指す		グループの再生可能 エネルギー比率	グループの再生可能エネルギー使用比率80%以上を目指す	グループのエネルギー使用量	TCFDに基づく情報開示（2022年7月開示）： https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/tcfd/
7							グループの再生可能エネルギー比率	・グループ全体の約30%を達成 ・2022年1月より横浜衛星管制センターおよび茨城ネットワーク管制センターの使用電力の切り替えを実施
8		衛星を利用したCO2削減の支援	再生可能エネルギー発電・供給への寄与を拡大する		太陽光発電出力予測システムユーザー企業による再生可能エネルギーの発電量	太陽光発電出力予測システムユーザー企業による再生可能エネルギーの発電量を拡大させる	太陽光発電出力予測システムユーザー企業による再生可能エネルギーの発電量	電力中央研究所との共同で気象衛星画像と地上からの天球画像のハイブリッド方式によるリアルタイム日射量予測システムを構築し2022年度以降の実用化を目指す
8					チャレナジー案件の件数	チャレナジー案件を通じた再生可能エネルギーの供給を拡大させる	チャレナジー案件の件数	・フィリピンにおいて同社製マグナス式風車の運用を2022年6月に開始。 ・当該風力発電を使用した電力による衛星インターネットサービスも開始予定
9		産業廃棄物の適正な処理、リユース、リサイクルの推進	産業廃棄物の適正な処理、リユース、リサイクルの推進により、グループの廃棄物量を削減する		グループの廃棄物量	・グループの廃棄物量を集計し、2021年度実績から開示する ・2022年度以降グループの総廃棄物量前年比マイナスを継続する	グループの廃棄物量	・グループ全体の実績把握には至らず 　＊スカパーJSAT㈱単体の総排出量：150.51t（内、産業廃棄物は63.73%、一般廃棄物は36.27%） ・アンテナ等のリサイクルに関する仕組みを検討中 ・廃棄予定カレンダーの視聴者プレゼントを実施
10		環境に配慮した調達	全サプライヤーにグリーン調達（CSR調達）を浸透させる		-	・グリーン調達方針（CSR調達方針）を2022年に策定する ・2023年度以降、グリーン調達方針（CSR調達方針）へのサプライヤーの同意率の目標を設定する。	-	2022年度グリーン調達方針策定に向け、先進企業事例の情報収集を実施
11	宇宙環境の改善	宇宙ごみ削減への取り組み	宇宙ごみ除去サービスを事業として確立させる		-	宇宙ごみ除去サービスの事業化を実現する	宇宙ごみ除去サービス事業化の 進捗状況	事業化に向け、レーザー技術の開発・ミッション解析設計を進め、市場調査等を実施
12	環境や社会に寄与する イノベーションの推進	放送・通信の高度化・技術開発による新しい価値の提供	新たな映像サービス、新たな顧客サービスを提供し続け、社会を発展させる		-	顧客価値を高める新たなサービスを毎年投入し続ける	-	・2021年10月 新配信サービス「SPOOX／SPOOX　EX」開始 ・2021年7月 家電サブスクサービス「PLUSY」開始 ・2021年6月 メディアソリューションサービス「メディアHUBクラウド」開始 ・2021年7月「マンション映像設備保守サービス」開始
13		リモートセンシングの開発・推進	リモートセンシングを活用した事業を進化させ、環境保全や社会の発展に寄与する		-	リモートセンシング案件を拡大する	リモートセンシングの具体的な 活用事例	・斜面モニタリング SARデータを活用した沈下/隆起の時系列解析をパートナー企業と土砂災害警戒区域を対象として実施 ・ため池モニタリング ため池内のゴミを高分解能光学画像で撮像し、InSAR解析を実施（2022年5月で最終報告実施）
15	強靭な経営基盤の整備	コーポレート・ガバナンス体制の整備	取締役会の経営機能・監督機能を強化し、多様性と実効性のある体制を常に追求する		-	・改訂コーポレートガバナンス・コードを遵守する ・重大な違反件数を、毎年ゼロにする	重大な違反件数	・プライム市場が求める基準適合に向けガバナンス体制を整備中 ・内部統制システムに基づき安定かつ実効性のある体制維持 ・重大な違反件数0件
16		積極的かつ責任ある企業広報活動とステークホルダーとの対話	開示内容を充実させ、ステークホルダーから正しく評価され続ける企業となる		-	開示内容を充実させ、ステークホルダーごとの対話実績や対話内容を毎年開示する	-	・機関投資家や金融機関を含むステークホルダーとの対話を積極的に実施、対話回数は昨年度より増加 ・サステナビリティサイトの情報充実などステークホルダーとのコミュニケーションツールの利便性向上を企図
17		情報セキュリティ・個人情報保護	（情報セキュリティ・個人情報保護）重大な違反や情報漏洩ゼロを維持する		重大な違反や情報漏洩件数	ISMS・Pマーク認証の更新と実効性のある管理体制の維持をする	-	・ISMS・Pマーク認証を維持 ・引続き啓蒙活動を実施
17						「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」に基づき、社内体制の 維持し強化する	-	・関連規程を整備し、グループのサイバーセキュリティ対応体制を強化 ・引続き啓蒙活動を実施
18	多様な人財の活躍	人財開発	役職員ひとり一人が最大限に力を発揮して、 全員が活躍している会社を目指す		-	エンゲージメント指標の前年からの改善	エンゲージメント指標	・人材開発・育成／働き方やキャリア形成を目的とした研修を実施 ・1on1等による役職員間のコミュニケーション強化 ・エンゲージメントサーベイを開始。肯定的回答率64%
19		ダイバーシティ＆インクルージョン		女性管理職比率は、社員男女構成比相当を 目標とする	女性管理職比率	・ダイバーシティ＆インクルージョンの積極的な推進のため、働きやすい環境整備、内発的動機付けのための研修、社員の意識変容を進める ・多様な働き方に関する情報発信や理解浸透のためのコミュニケーション活性化を行う	女性管理職比率	・多様性推進を目的とした研修を実施 ・女性取締役と女性ライン管理職との対話会を実施
19					-		障がい者雇用率	人事関連データ（2022年7月開示） https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/sdgs/promote/
19							中途採用率	
19							育児休業復職率	
19							男性育児休暇取得率	
19							年次有給休暇取得率	
20		従業員の健康増進、安心安全な職場づくり			-	2022年度に法定検診受診率を100%を目指す	法定健診受診率	・労働実態の把握と適正化に向けた取り組みを実行 ・各種健康増進施策の実施
21	地域・コミュニティの発展	放送枠・番組・CM等の特徴を活かした社会への貢献	自社のインフラを活用した社会貢献を通じ、Space for your Smileを実現する		-	スカパー！ のアセットを活用した社会貢献施策を実施する	-	・BSスカパー！ にて「スカパー！アイドルフェス！Think of SDGs」制作・放送し、視聴者に対するSDGs啓蒙を実施 ・新型コロナの影響で、様々なイベントや行事に参加できなかった中学生・高校生に対して、ANAの「FLYING HONU（フライングホヌ）」で、成田空港から日本各地を周遊する空の旅をプレゼントするイベントを実施
22		次世代教育・地域共生などの社会貢献			-	・社会貢献プログラムの実施 ・東南アジア教育支援、宇宙に関する出張授業、Satellite Crayon Projectの展開などに加え、当社にふさわしい地域コミュニティの発展に寄与する社会貢献活動を、新たに企画し推進する	-	・東南アジア教育支援（カンボジアにおいて、スカパーJSATスクールの運営および寄付の継続） ☞SDGs Newsletter <Vol.1> https://www.skyperfectjsat.space/news/detail/sdgsnewslettervol1.html ・Satellite Crayon Projectを展開 ☞SDGs Newsletter <Vol.2> https://www.skyperfectjsat.space/news/detail/post_158.html
22					-	スカパー東京メディアセンターでの災害時の地域貢献体制を 整備しBCP手順に組み込む	-	スカパー東京メディアセンター（東京都江東区）において災害時における地域対応を検討中

※No.14　パートナーシップの促進は、各テーマの目標実現のための共通手段であるため個別目標は定めない。